

ネイティブ牛 α -L-フコシダーゼ

Cat. No. NATE-0266

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

酵素学において、アルファ-L-フコシダーゼ (EC 3.2.1.51) は、次の化学反応を触媒する酵素です： アルファ-L-フコシド + H₂O ⇌ L-フコース + アルコール。したがって、この酵素の二つの基質はアルファ-L-フコシドとH₂Oであり、二つの生成物はL-フコースとアルコールです。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特にO-およびS-グリコシル化合物を加水分解するグリコシダーゼに分類されます。この酵素はn-グリカンの分解およびグリカン構造の分解に関与しています。

別名

α -L-フコシダーゼ; EC 3.2.1.51; α -フコシダーゼ

製品情報

種

ウシ

由来

牛の腎臓

形態

硫酸アンモニウム懸濁液。3.2 M (NH₄)₂SO₄、10 mM NaH₂PO₄、10 mM シトレートの懸濁液、pH 6.0

EC番号

EC 3.2.1.51

CAS登録番号

9037-65-4

活性

> 2.0 ユニット /mg タンパク質 (ピュレット)

単位定義

1ユニットは、pH 5.5、25°Cで、1.0 μ moleのp-ニトロフェニル α -L-フコシドをp-ニトロフェノールとL-フコースに加水分解します。

保管・発送情報

保存方法

2-8°C